

## 令和5年度秋田県優良自主防災組織表彰 受賞団体

団体名等	表彰理由
<b>大住地区自主防災連絡協議会</b> <b>（秋田市）</b>  結成：平成20年10月19日 世帯数：約3,400世帯	<p>平成20年に牛島地区火災予防組合から独立・結成以来、地区の各種団体と連携しながら災害対策や火災予防に関する取組を行っており、毎年、春季及び秋季防災訓練をはじめとする防災・減災活動を継続して実施するなど、地域防災体制の充実・強化を図っている。</p> <p>令和4年度からは水害対策をテーマとしてセミナーを実施、令和5年度には7月豪雨の反省点を踏まえ、協議会として自主防災組織のあり方についての講習会を開催した。また、防災・防火に関するのぼり旗やチラシを作成し配布するなど、工夫した啓蒙活動により自助・共助の意識付けを図っており、他の自主防災組織の模範となっている。</p>
<b>樽子山第一自治会自主防災組織</b> <b>（能代市）</b>  結成：平成30年5月18日 世帯数：83世帯	<p>平成30年に結成以降、住民の防災意識を高めるため、毎年出前講座や発災時のパッキングの実習など、世代や世帯を問わずに防災知識を学べる企画を継続しており、地域住民の防災意識の向上を図っている。</p> <p>また、発災時の公的支援に結びつけるまでの初動体制を確認するため、避難行動要支援者を世帯や空き家の把握を行い、安否確認用の独自地図に工夫をこらすなど、個人情報等を考慮した共有方法に努めている。</p> <p>このほか、月一回発行の自治会通信で、マイタイムラインの推進や防災用品の紹介など、災害に対する危機管理能力の向上にも努めており、他の自主防災組織の模範となっている。</p>
<b>大松川区自主防災会</b> <b>（横手市）</b>  結成：平成26年2月28日 世帯数：57世帯	<p>地滑りや土石流などの特別警戒区域に指定されている当地区は、災害の危険性が高い地域であることから地域住民の自主防災意識は高く、「自分たちの地域は自分で守る」という地域防災の基本理念のもと、平成26年に結成以降、避難行動要支援者名簿を元にした訓練、地域住民の参加による避難所設営訓練、防災マップの活用、安全な雪下ろし講習など、毎年内容を変えて、さまざまな活動を続けている。</p> <p>これらの取組が功を奏し、昨年7月の大雨の際には、民生委員と協力して一人暮らし世帯を巡回し、安否確認や早めの避難を呼びかけるなど、被災の未然防止に貢献しており、他の自主防災組織の模範となっている。</p>
<b>皆瀬地域自主防災委員会</b> <b>（湯沢市）</b>  結成：令和元年5月9日 世帯数：580世帯	<p>過疎化や人口減少が進行し、地域コミュニティの防災機能の低下がますます懸念される当地域で、令和元年、19の集落からなる地域自治組織を中心に自治組織の一枠として結成以降、集落を限定した火災対応や通報訓練、学校と連携した避難訓練、皆瀬地域イベントにおける啓発活動など、防災に対する苦手意識を持たせないよう、地域住民からの要望も取り入れながら、自主防災組織と地域が協働して、可能な限り毎年実施している。</p> <p>また、学校と地域が協働して活動することで、世代間交流や連携体制の構築など、地域防災の活性化や防災力の向上に非常に大きな成果を得ており、他の自主防災組織の模範となっている。</p>